海風通信

発行者：SBC東京医療大学
学長　山之口 美喜生

〒279-8567　千葉県浦安市明海5丁目8番1号
TEL：047（382）2111（代表）

第37号

37号 目次

【特集】新入生の皆さんへ

2024年春、その新しい光の中で
学長 山之口 美喜生 …… 2–3

新入生の皆さんへ　―あなたは大学生としてどう生きるか―
健康科学部長・医学教育センター長 檀 和夫 …… 4–5

医療文献検索に附属図書館を活用しよう！
附属図書館長 石丸 圭荘 …… 6–7

新入生の皆さんへ
教養部長 山田 利彦 …… 8–9

より良い大学生活を送るために
学生部長 武内 朗 …… 10–11

専門性って何？
理学療法学科長 盆子原 秀三 …… 12–13

柔道整復師に必要な「鬼手仏心」の心得
整復医療・トレーナー学科長 大澤 裕行 …… 14–15

夢・目標に向かって進もう
看護学科長 佐藤 みつ子 …… 16–17

新入生の皆さんへ　―大学での教養の深め方―
2023年度学友会 学生図書委員 伊藤 弘祐 …… 18–19

新着図書紹介 ／ 編集後記 …… 20

◆ 図書館報の閲覧ができます。図書館HPへGo!

SBC東京医療大学附属図書館HP

2024年春、その新しい光の中で

学長　山之口 美喜生

1年生のみなさん、SBC東京医療大学新1期生として入学し、早くも2か月が経とうとしています。そろそろ90分授業や大学生活にも慣れてきたでしょうか。

2年生のみなさん、入学から1年が過ぎました。入学当時に抱いていた熱い思いと志は、まだその胸の中に灯っているでしょうか。中だるみも来てしまいますが、本道を外れぬようにしましょう。

3年生のみなさん、専門科目が中心となり更に学びの難易度が上がります。こんなに難しいとは思わなかったと学習の壁にぶつかる時です。2年後の国家試験も現実的な話になってきています。迷いも生じやすい時ですが、壁を乗り越えられるようあらためて志を強く持てているでしょうか。

4年生のみなさん、いよいよ勉強は施設でのリアル実習や学内演習での仕上げの時期となりました。まだ余裕があるかもと思っていた国家試験対策も本番です。余裕はありません。ですが、今ならまだ勉強不足のやり直しは可能です。来年4月にはきっと誰かの命と健康とその未来に向き合っていることでしょう。言い訳無用で学習に必死で取り組まねばならず、高い学習モチベーションの維持ができるかどうか、それが最後の追い込みにはとても大切です。

そうやってそれぞれの思いで頑張っている全てのみなさんに、私が「座右の銘」としている言葉を贈りたいと思います。

『努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る』(井上靖(1907年～1991年) 作家)

この言葉は毎年のように卒業生にも新入生にもお伝えしています。ですので海風通信を愛読されている皆さんにとっては何度か目にしておられるでしょう。ですが何度も目にし耳に聞いて心に刻んでほしい言葉です。

この言葉のように希望だけを持って日常生活を送ることは簡単ではありません。我々は心のどこかには常に何かしらの不平不満が渦巻いています。学校への不満、社会への不満、家族への不満、人間関係への不満、そして自分自身への不満。不満を言っているだけでは解決にならないことは自分でもよくわかっています。わかってはいても不満はどんどんたまります。何の不満もないという人がいるかもしれませんがむしろ問題意識が低すぎるとも言えます。

決して怠けているつもりもなく、それなりに頑張っているつもりだからこそ、壁を感じ、壁への不満が生まれます。そして多くの人は、その不満が怒りとなり、怒りが責任転嫁となり、責任転嫁で納得できるとそれが不満の原因であるとの確信となります。しかし、残念ながら責任転嫁（他罰感情）から生まれるのは争いと暗闇であり平和や光ではありません。

では、どうすれば努力する人になれるのか。

努力する人は不満の処理の仕方を身につけた人です。努力する人にも不満の種は日々芽生えます。ただ、努力する人は不満と感じた時、それを怒りではなく解決を探る問題点として捉えます。問題に向かって「では自分はどうしたらいいのか？」と未来への疑問形に変換して解決策を考えるのです。そして、あとはその「解決策を実行」していくのです。これが「努力」と呼ばれる行為なのです。

努力とは、「解決された未来の姿、つまり希望に向かうための頑張り」そのものです。だから、「努力する人は」前向きな思考となり、自然と「希望が口に出る」のです。

スポーツで例えれば優勝を目指しての厳しいトレーニングは苦しいけれど嫌にはなりません。それが努力する姿であり目標を持てたときの頑張りです。

みなさんはこれから多くの楽しみと同じ数だけの困難も経験することでしょう。

そういう苦難の時に心を支えてくれるのが同じ志を持つ友人です。そして言葉です。

『言葉』には力があります。魂に響く『言葉』は力を与えてくれます。

あなたが見つけたその言葉を、あなたの人生の友の一人に加えてください。

ジャンルは問いません。まずは、本を読む習慣を身につけてください。いい本と巡り会い、何かの言葉に心を打たれた時、それはきっとあなたが人生の宝物（友）を手に入れた瞬間となります。

医療者への道はいつ頂上が見えるのかもわからぬ険しい登山道です。しかし、道々すれ違う人の感謝や感動と接したとき、苦労して登ってきて本当によかった……と思える素晴らしい道です。頑張って登り続けてみましょう。

でも、時には休憩も必要です。専門書を閉じて、お気に入りの一冊の本を手に取りましょう……。

新入生の皆さんへ
―あなたは大学生としてどう生きるか―

健康科学部長・医学教育センター長　檀　和夫

大学生になって2か月が経った今、あなたはどう思っているでしょうか。医療人を目指してこの大学に入ってきたあなたは無事にその一歩が踏み出せたことに安堵と自信が芽生えてきつつあるでしょうか？あるいは医療系の大学は予想外に勉強すべきことが多くしかも難しくて自分の思い描いていた大学生活とは違うと感じている、あるいは自信を失くし始めているという人も中には少しはいるかもしれません。でもそのような心配は無用です。医療系大学の4年間で学ぶ多くの知識・技術・技能は毎日の勉強をこつこつと日々継続していけば4年後には卒業して国家試験に臨むに十分な力は確実に付きます。ですから大切なのは毎日の地道な努力の継続ともう一つは意欲です。しかし、この大学への入学志望動機が医療人になるという確固たるものでなく、あるいは親が勧めたからというあやふやなものであった場合はモチベーションが保てるかどうかが問題でしょう。もしモチベーションを保つのが難しいということであれば早めの進路変更をお勧めします。それがあなたの長い人生を考えればベストの選択になるでしょう。

さて、これからの大学生活の4年間はあなたの人生の中でどのような時期でしょうか。あなたの乳幼児期、幼稚園、小学校・中学校の義務教育時代、高校生時代の18年間はずっと保護者に一方的に守られてきました。例えば金銭面だけをみても子供の教育費は幼稚園から大学卒業までに私立大学（文系）で2,500万円～3,000万円と推計されており、その他に食費、衣服費、医療費、さらにはスマホ代などの「子育て費用」を含めると4,300万円を超えると言われています。そのように守られてきたあなたは大学生活の4年間を過ぎると社会人となり一挙に独り立ちして生きていかなければなりません。

つまりあなたにとって大学生活4年間は謂わば昆虫で言えば蛹(さなぎ)から成虫へと変態(羽化)を遂げる時期といえるでしょう。そのためにあなたは何をしたらよいのか、何をするべきなのか。1つは自分のことは自分で責任を持つことです。つまり大人になることです。社会人になったら自分がやるべき事をやらずに窮地に陥っても他人(ひと)は誰も守ってはくれません。

もう1つは社会人として自分の視野を広げることです。今までのあなたの視野(興味の範囲)は自分と限られた仲間たちだけの範囲でスマホに代表されるような楽しみが中心という人もいるかもしれません。しかし、社会人は自分の友達とだけ付き合うわけではなく、むしろ友達以外の周りの多くの人たちとの付き合いが主となります。その時に今のあなたの視野のままだと「何だこの人はつまらない人だ」と思われてしまうでしょう。この社会には知っておかなければいけない、考えておかなければいけない多くの問題で溢れています。例えば今の日本社会をとってみれば人口減少(少子高齢化)とそれに伴った国力の衰退(すでに名目GDPはG7中最下位、国民1人あたりGDPもOECD加盟国中27位)、世界から遅れた男女間格差問題や人権問題、等々多くの考えなくてはいけない問題があります。世界ではロシアのウクライナ侵攻、中東でのイスラエルとパレスチナの紛争、アフリカやアジアの国々での軍事政権による圧政、等々。地球規模では地球温暖化による気候変動で危ぶまれている人類の存亡。全ての人が視野を広げて考えていかなくてはならない問題に溢れています。今あなた達と同じ大学生が世界各国の大学でイスラエルのガザ侵攻に反対する抗議デモを起こしています。これを政治や宗教の観点からどちらが正しいのかと捉えるのではなく世界各国の大学生が目を世界に向けていることに注目すべきです。日本の大学生もスマホとSNSの世界だけで生きていたら日本の将来を担うあなた達はいずれ世界の同世代から取り残されてしまうでしょう。それは日本という国が世界から取り残されてしまうことを意味します。

貴重な大学4年間をどう生きるか、あなた達の脱皮(羽化)と飛翔を期待しています。

医療文献検索に附属図書館を活用しよう！

附属図書館長　石丸　圭荘

ご入学おめでとうございます。医療の最前線を担う医療人を目指して、附属図書館で医療文献の検索システム等をフル活用しましょう!!

皆さんの高校生活にも影響を及ぼしたCovid-19（新型コロナウイルス）の脅威は、世界的なパンデミックを引き起こし、医療界ではワクチンの開発や治療法の確立が急務となりました。このワクチン開発を早期に可能にしたのもAIによる医療文献の検索コミュニケーションシステムです。このシステムを活用した最新データの検証とワクチン効果の再現性を共有することで、変異するウイルスのオミクロン型に対応したワクチン開発などが系統的に確立しています。

このように、世界的に注目されている疾病の治療技術や予防法などに関する医療論文の情報をいち早く正確に閲覧するためには、医療に関する文献（英論文）を米国国立図書館（National Library of Medicine）が構築しているデータベースMEDLINEを活用して検索することができます。「英文は苦手!!」でもMEDLINEのWeb検索ツールであるPubMedなど翻訳ツールで日本語に翻訳して閲覧することができます。

その他にも附属図書館で提供している和書論文の検索システムは、メディカルオンラインや医学中央雑誌（医中誌Web）などが提供する検索サイトを利用することができます。メディカルオンラインとは、医療関係者のための医療情報の総合Webサイトです。医療系大学、病院、医療関連企業などの多くの医療機関で活用されているデータベースです。

原則として一般の方は登録できませんが、医療系大学では多くで登録されており、もちろん本学附属図書館で検索することができます。

さらに、医中誌Web検索システムでは、日本国内の学会や出版社が発行した雑誌に掲載された医歯薬、医療技術を含む保健衛生などのあらゆる医療関連領域の文献を検索して、必要な文献を閲覧、ダウンロードも可能です。これらシステムを有効に活用してレポートや卒業論文の作成には必須の検索システムです。一方で、検索した論文の内容にエビデンスがあるか客観的に検証する医学的な知識が求められますが、この知識は4年間の学習を通じて構築する必要があります。

また、本学の先生方の研究成果について学術機関リポジトリで検索できます。リポジトリとは、大学をはじめとする研究機関の研究成果を管理・公開することにより、オープンアクセスの基にコミュニケーションシステムに寄与するものです。これら附属図書館での検索システムの詳細は初年次教育の一環として、カリキュラムが組まれていますので積極的に参加して活用法を習得してください。

図書館ホームページを活用しよう！

図書館HPから以下のバナーをクリックして、データベース・電子ジャーナル・電子書籍を利用できます。利用については、守らなければならない事項が定められています。

データベース・電子ジャーナル・電子書籍

文献を短時間で大量にダウンロード、自動的、または組織的にダウンロードや印刷をすることは禁止されています。

新入生の皆さんへ

教養部長　山田　利彦

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！

大学名がSBC東京医療大学に改称となり、その一期生として入学された皆さんが、それぞれの目標を達成し、実りある4年間であったと言えるよう、これから共に学んでいきたいと思います。

皆さんは早くに自身の将来の目標を見定め、その思いを実現すべく、当大学を志望されました。大学卒業後の自分の姿を高校生の時点で描けているということは、皆さんが思っている以上に素晴らしいことです。そうした情熱を胸に、早く専門的な知識を学びたい、体験したいという思いに駆られていることと思います。しかし、専門分野の学びだけでなく、幅広い教養を身につけることを求められるのが、大学が大学たる所以です。1，2年時を中心に履修を行う教養科目では、異なる視点や価値観を理解し、社会の多様な問題に対応するための基盤を築く役割を担っています。皆さんがこれから身に付ける専門的な知識や技能をいかに活かすか、またそれぞれの社会、組織の中でいかに生きるかという点などについても非常に重要な示唆を与えてくれる学問となります。多種多様な分野の学びに触れることで、皆さんの視野が広がり、深い洞察力や思考力が養われます。そして、それぞれの資格を取得したのちにこそ、本当に活きてくる、そして必要となる知識になってくるものと思います。

皆さんは以下の言葉を聞いたことがありますでしょうか？

“宝島の海賊たちが盗んだ財宝よりも、本には多くの宝が眠っている。
そして、何よりも、宝を毎日味わうことができるのだ。”

これは誰の言葉でしょう。

答えは浦安の地にあり当大学に程近い、ディズニーリゾートの創立者である、ウォルト・ディズニーが読書について述べた言葉です。

皆さんは今後様々な専門書や教科書などの書物を、時に見るのも嫌になるほど多くの時間を費やして、学んでいくことになると思います。そうした中で、専門書や関連書に加えて、図書館にある多くの書籍から、自身の人生に活きる、多くの宝を探し出し、味わってもらいたいと思います。そして、在学中に発見した多くの宝の中から、自身の今後の人生行路における、道しるべとなるような本に出合っていってほしいと思います。

大学での学びや読書を通して、皆さんの学生生活が素晴らしいものになることを、心より願っています！

より良い大学生活を送るために

学生部長　武内　朗

19期生(SBC東京医療大学1期生)の皆さん入学から2か月が経とうとしていますが、うまくスタートを切ることができましたか？ 順調に歩み始めた人も、ちょっとだけ戸惑っている人もいるかもしれませんね。ただ焦らないでください。皆さんには卒業までまだ3年10か月あります。ただ多くの学生さんが振り返り、「過ぎてみれば入学してからの4年間は早かった」そして「あの時あーしてれば、こーしてれば……」と話すことが多いのも事実です。大学生活はこれまで護られてきた環境から、少しずつ大人としての自覚を養い、成長していく過程でもあります。皆さんにはそれぞれのペースで大人としての言動を身に付けていってほしいと思っています。それだけに独りよがりではない自分の考えをしっかりと持ち、指示を待っての行動ではなく積極的に行動することを心がけてみましょう。

さて大学生活では何をしていきますか？ 当初の目的である種々の資格取得を目指すことはもちろんですが、大学生活をできるだけ有意義なものにしたいと誰しも思っているでしょう。バイトで異なる目標を持つ人たちとの交流を広めることも良い経験になります。部活やサークルを通じて、他学科に友人を広げていくことも楽しさを増幅させていくことに繋がるかもしれません。とにかくこれまで踏み込んだことのない領域で行動してみませんか？ その一つを作るきっかけに学友会を利用してみましょう。

まだまだ活発とは言えない会かもしれませんが、学生が主体となり企画行動できることが多く残されています。周囲に何らかの影響をもたらすことで、充実した未来を自身で創り上げていくことができるかもしれません。

未来とは今である（マーガレット・ミード※1）という言葉があります。過去も未来も実はなく、あるのはただ「今」の連続体であるということです。今を充実させるために過去と未来を使うべきだとの解釈があります。今を充実させるために、物事を先送りすることなく、貴重な時間を後悔のない過去にしたいものです。どうぞ万人に公平に与えられている時間という貴重なものを有意義に使っていきましょう。教職員一同、皆さんの未来に大いに期待しています。

※1：Margaret Mead 1901.12.16 – 1978.11.15 米国の文化人類学者。
『20世紀西洋人名事典』日外アソシエーツ(1995)

【2023年度 学友会寄贈図書】 学友会図書委員(2名)が選書

専門性って何？

理学療法学科長　盆子原　秀三

「あなたの専門性は何ですか？」

「あなたは仕事でどんな価値を提供してくれますか？」

「それは他の人には生み出せない価値ですか？」

プロとは何か？いま話題の大谷翔平選手のようなスポーツ選手にとって、自分の価値はプロフェッショナルとしての能力で決まります。アルバイトのように給与が「時間」に対して支払われるようなものではありません。つまり勤務した時間ではなく、自分の能力によって生み出された成果が、プロとしての価値と考えるのが「プロ意識」と呼ばれるものなのです。

日本は戦後の高度経済成長期における日本型経済が一躍脚光を浴びて以来、40年以上が経った現在もなお続く「終身雇用」という三種の神器とまで呼ばれた日本経済の制度によって成り立っています。そのため日本のビジネスパーソンは「専門性」がたいしてなかったとしても、それなりの会社員人生を歩むことができました。しかし世界経済におけるグローバルな競争が激化する中で、日本企業の国際競争力は低下し続けており、今までと同じような意識のまま、ジェネラリストとして社会のなかでうまくやっていけば生きていけるような時代は、いよいよ終わりを迎えつつあります。まさにこれから生き抜くためには専門性を身に付けることが重要であると言えます。

さて、皆さんは医療福祉分野での専門性を学ぶべく入学されたわけですが、その専門性を身に付けるにはどうしたらよいでしょうか？

それには教員が講義資料に提示するかっこの穴埋めの答えを覚えるのではなく、その答えに対し「問い」かけることこそが専門性を深めていきます。私の担当講義の学生授業アンケートで「先生は、直ぐに答えを教えてくれない」というクレームが多くあります。「いったい何が問題なのか？」が分からず、答えを与えてしまったら、どこまでも深く広がっていく専門領域を漠然と眺めるだけの状態になってしまいます。

専門性を高めるには何よりも答えよりも問いを磨くことです。

「本当に？」(信憑性)　「いかにして？」(経緯)　「どういう意味？」(定義)

「どのように？」(様態)　「いつ(から/まで)？」(時間)　「どうやって？」(方法)

「なぜ？」(因果)　「他ではどうか？」(比較)　「だれ？」(主体)

「これについては」(特殊化)　「すべてそうなのか？」(限定)

「これだけか？」(一般化)　「どうすべきか？」(当為)

様々な角度から、たくさんの論点を洗い出すことができれば、ひらめきと連想の広がりに繋がるため、問いに磨きをかける有効な手段となります。これこそが専門性を身に付ける最良の方法であるといえます。また自分で自分の思考にツッコミを入れること、つまり批判的思考によって自分が考えていることの精度をさらにアップすることができます。

このような試行錯誤を積み重ねることで、自分らしい問いを立てることは、専門性を身に付けるための重要な段階となります。しかし本当に役立つのは「専門知識そのものの積み上げ」ではありません。むしろその問いを明らかにしようとする「深掘力」だと思います。AIの進化に伴いヒトの本来の能力を発揮すべきは創造力なのです。創造力に必要なのは相手の状況の中で最上のニードをみつける深掘力です。

患者さんの支援に立ち向かった時、その生活背景やこれまでの生い立ちのなかで、その人にあった最良の介入策を専門職として選択していきます。何が最善なのか？何度も何度も問い返していきます。専門的な知識はもちろんのこと、支援したいという強い熱意、これこそが自分の学力のなさに対して困難を乗り越える力であり、「頭で学ぶのでなく、心で学ぶ」ことの真意があります。挑戦こそが生きる証であることをこの大学で味わってもらいたい、それを最大限に支援することを私は約束します。

『替えがきかない人材になるための専門性の身につけ方
：時代の変化に流されない「ビジネスのプロ」への近道』

国分　峰樹　著
フォレスト出版（2023.8）

『教養の書』
戸田山　和久　著
筑摩書房（2020.2）

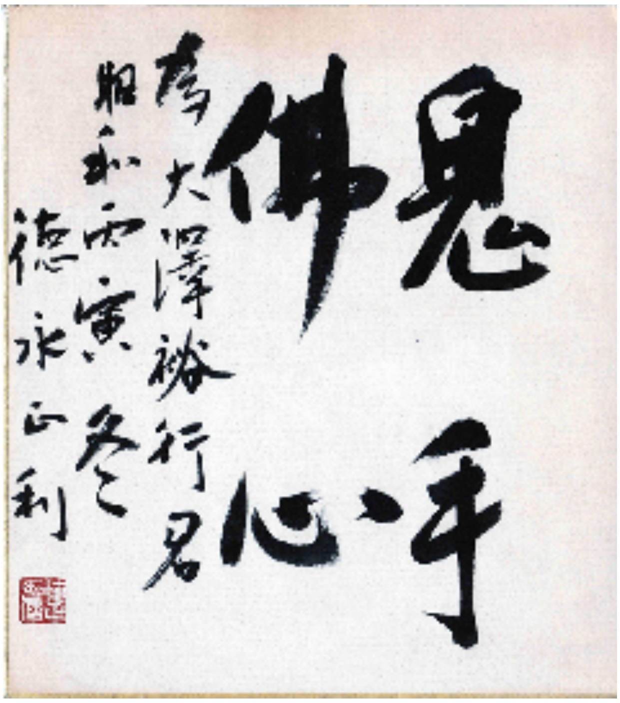
柔道整復師に必要な「鬼手仏心」の心得

整復医療・トレーナー学科長　大澤　裕行

柔道整復師という職種は永年、CAM(Complementary Alternative Medicine)補完的代替医療として、漢方や鍼灸同様、日本の土壌で筋骨格系外傷施術を中心に、国民の健康生活に寄与してきた民俗伝統医療です。「整骨院」「接骨院」として日本のあらゆる地域で地域住民に親しまれ、また多くの救急外傷を初診から完治まで施術処置して、一人完結型医療を身を以て実践してきた貴重な伝統医療職です。近年では、イノベーティブな整形外科学の驚異的発展と市井での数の充足により、筋骨格系外傷のプライマリーケア(1次医療)は、ほぼ個人開業の整形外科クリニック主導となり、重症例は救急搬送による大病院での処置という具合に、往時、大活躍したベテラン柔道整復師の熟練手技は、無念にもだんだん無用の長物となりつつあります。

大学病院や大病院のひしめく大都会は別として、日本中の多くの地域で「骨折と言ったら整骨院へ！」とか「骨折は、骨折専門医の骨接ぎへ！」という合言葉の下、入室設備まで完備して、軽微な骨折から重度外傷まで皮下骨折を一手に治療していた盛況な時代でした。応急で外科医に搬送され、レントゲンで「○○骨折」という診断が為された途端、患者様から「じゃー、骨専門の骨接ぎ医に行きますから！」と転医の要望が出るほどの信頼度の高さでした。今や医療全てがEBM(Evidence Based Medicine)「科学的根拠に基づいた医療」時代となりましたが、柔道整復師が関節脱臼や転位骨折の徒手整復をする際は、外科医(整形外科医も)同様、徒弟制度と丁稚奉公で培った師匠伝授の3K(経験・勘・コツ)手技で患者様を治さねばなりません。つまり同じEBMでも、Experience Based Medicine「経験に基づく医療」こそが力量発揮の根源となる訳です。

もうお気付きのように柔道整復師は、病院のように麻酔下の処置ではなく、ほんの一瞬ですが無麻酔下でズレた骨を徒手整復します。無論この時、なるべく無痛となるよう努めますが、その手技に迷いやためらいは絶対に禁物です。昔から外科医の代名詞とも心得ともされている「鬼手仏心(きしゅぶっしん)」で施術します。「鬼手仏心」というのは、外科医が患者を救うために手は鬼のように患者の患部を切り裂き残忍に見えますが、その心は慈悲と慈愛に満ち満ちている、という格言です。つまり患者の命を救済するために、一瞬ではあるが患者に辛苦の想いをたとえ強いても、その粗暴にも見える治療手技に掛け全身全霊で患者を救う！という意味です。メスを駆使して国を医(いや)す国手とまで敬意形容された外科医同様、我々柔道整復師もこの『鬼手仏心』という心得、医療哲学の深い意義を知り、国民のため患者のため崇高な医道を貫かなければなりません。



自宅治療室に永年飾っている色紙

揮毫　叔父　元参議院議長　徳永　正利
（1913年8月25日 – 1990年9月23日）

夢・目標に向かって進もう

看護学科長　佐藤　みつ子

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。教職員、在校生一同、心より歓迎しております。皆様が、これから大学生活を送るにあたって心がけてほしいことを申しあげたいと思います。

Ⅰ.「大学で学ぶこと」の意味

皆様は、看護専門職人になるための出発点に立ちました。各自が目指す看護師、保健師、養護教諭としての目標を明確にし、目標達成のために4年間をどう過ごすかの計画を立て、看護の専門的な知識、技術を身につけることはもちろんのこと、ひとりの社会人として、医療人としての人間性を育んで欲しいのです。

Ⅱ.大学で何を学ぶか

「ローマは1日にしてならず」のことわざがあるように、「看護師は1日にしてなれず」です。看護学科では、医療・看護の専門知識、技術を身につけ、豊かな感性、人間性を育み、今後、変化する地域社会・医療・福祉に貢献し、将来指導者となる人材の育成をめざした独自のカリキュラムを組んでおります。

1年次は、教養科目の授業を通して広い視野から物事を考えられる豊かな感性と人間性を身につける。特に、大学で唯一本格的に「美容医療」を学べます。

2年次は、看護の基礎となる医学知識や保健医療福祉について学び、また、地域における看護を体験する「地域包括ケア実習」があります。

3年次は小児看護から高齢者看護の理論を学び、専門看護領域別実習があります。

4年次は、看護を追究し自分の看護に対する考えをまとめる「看護研究」、看護を総括する「統合実習」、「総合試験」「国家試験」に向けての学修ができます。

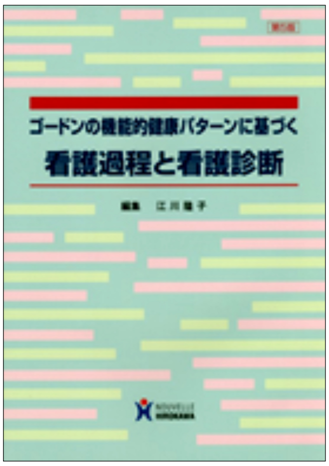
1年次にナイチンゲールの考えを学ぶ

『ナイチンゲール心に効く言葉』

F.ナイチンゲール著；ハーパー保子訳
；サンマーク出版編集部編
サンマーク出版(2010.3)【請求記号:289.3‖Ni】

Ⅲ. 大学でどのように取り組むか

学修とは、自ら学び探究することを示します。大学は、学業、生活、健康管理の全てにおいて、自学・自立・自律・自己管理・自己責任が基本です。学業では、高校時代と異なり科目を選択し履修科目を登録する等、自分で考え、自分で決定し行動することになります。看護の難しさに直面し学業継続に不安を抱くこともあるかもしれませんが、皆様の強み・得意なITツールを学びに活かしてほしいと思っています。



患者の生活に即した看護診断を学ぶ

『ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断』第5版

江川 隆子 編集
ヌーヴェルヒロカワ(2016.1)
【請求記号:492.91|Eg】

生活面では、初めての一人暮らしに慣れずさまざまな困難に遭遇することもあるでしょうが、学友との語り合いやサークル活動、大学祭等、楽しみや嬉しいこともあります。健康は、学業・生活の基盤となります。本学では、自分の健康状態を管理するための「健康自己管理ファイル」を配布しています。看護師は健康管理の専門家ですので、各自自分の健康を意識した生活をして下さい。

大学生活全体を通して自立・自律の精神を身につけるためには、自己分析し、自分の強み、弱みを知り、これまでの自分を超える強い意志を持って、これからの日本の看護を前進させるような人になることを期待しています。

教職員は、「SBC東京医療大学で学びたい」、「看護師・保健師・養護教諭になりたい」という、皆様の志を受けとめ、夢が実現できるよう支援します。東京湾の見える素晴らしい環境で友と語り合いながら、SBC東京医療大学に入学したことに誇りを持ち、有意義な大学生活を送られることを願っています。

この学び舎で夢・目標を実現しよう

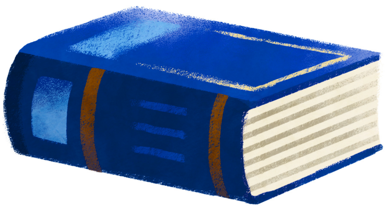
新入生の皆さんへ
−大学での教養の深め方−

2023年度学友会　学生図書委員
整復医療・トレーナー学科 4年　伊藤　弘祐

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。二ヶ月が経ち、学校生活にも慣れてきた頃でしょう。卒業後の明確な目標を持って入学された方もいれば、やりたいことのイメージを抽象的に持ち、自分を探しに入学された方もいらっしゃると思います。私は、四年間の大学生活というのは、医療の知識をつけることはもちろん、自分を知る期間であると考えています。私からは、勉強以外の大学での教養の深め方について、お伝えします。教養を育むには、子供のように好奇心を持ち、本を読み、人と多く関わり、何事にも慣れないことが重要であると思います。この四年間の生活の中で、人生のバイブルとなる本とも出会えることでしょう。

Ⅰ．本を読む

学校内の図書館は、利用したことがあるでしょうか。中にはまだ、場所も知らない方、図書館に行ったことがない方も、いると思います。図書館には、自分の知らない未知の事が、たくさん眠っています。その眠っている人類の叡智の中には、きっと自分が好きだと思える世界が広がっています。ぜひ、図書館に行って、ジャンル問わず気になった一冊を手に取り、自分の知らない世界の扉を開けてみてください。



Ⅱ. 人と関わる

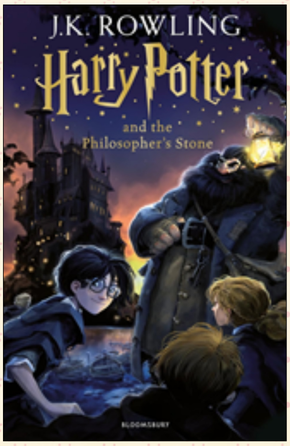
地球には現在80億人の人がいます。今から、全員に1秒ずつ挨拶をしても、全員とは話すことができません。ですから、大学で過ごしている生徒、先生、関わる全ての方々が、同じ時間、同じ空間にいるという事は、80億分の1という、とても奇跡的な時間だと思います。本大学には、日本全国から生徒が集まっています。自分の知らない世界を、皆持っており、その未知の世界の中にも、自分が好きだと思える世界が広がっています。広い世界で同志と出会えた奇跡を感じて、幅広く話すことが大切だと考えます。

Ⅲ. 慣れない

私は、人は慣れることが、得意だと思います。入学して二ヶ月、大学から見える海の壮大さ、窓の枠で切り取られた無限の景色の作品に、胸が高まっていることでしょう。しかし、時が経ち、慣れていくと当たり前の景色になってきます。今、毎日見ている同級生、同僚の笑顔が見えることも、当たり前になってきます。しかし、卒業後は、この景色はもちろん、同級生の笑顔を毎日、見る日は来ません。今ある当たり前の幸せを、実感しながら大学生活を過ごすことで、多くの気づきが目に映るでしょう。あっという間の大学生活ではなく、好奇心を持って有意義な大学生活を送っていきましょう。

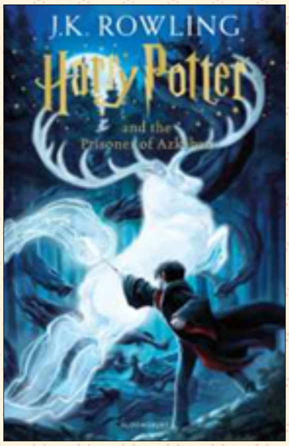
新着図書紹介

Let's enjoy learning English !



1

2



3

The Harry Potter series　1～7

【請求記号：933||Ro||1～7】

1.『Harry Potter and the philosopher's stone』
2.『Harry Potter and the chamber of secrets』
3.『Harry Potter and the prisoner of Azkaban』
4.『Harry Potter and the goblet of fire』
5.『Harry Potter and the Order of the Phoenix』
6.『Harry Potter and the Half-Blood Prince』
7.『Harry Potter and the deathly hallows』

J.K. Rowling

Bloomsbury(2014)

編集後記

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。

大学生活で多くのことを学び、将来に向かって進んでいくなかで、本に親しむ機会を作ってみてください。図書館には様々なジャンルの本があります。特別な一冊が見つかることを願って、今号をお届けいたします。

最後になりましたが、図書館報の原稿執筆にご協力いただきました教員、在学生の方々に心より感謝申し上げます。(長谷川)